

漁村地域の活性化のための整備（新規） （強い水産業づくり交付金）

1. 趣 旨

近年の漁港の利用形態は非常に多様化し、漁船の安全な係留、効率的な準備・陸揚等の作業の他、海洋性レクリエーション、交流学习等の都市漁村交流など、幅広い利用が図られており、より使いやすくするためのきめ細かな対応が必要となっている。そこで、これらの多様化した利用など漁港利用の高度化に対応した施設整備を推進する。

また、都市と農山漁村が共生・対流する活力ある社会を実現するため、「人・もの・情報」が循環する共通社会基盤を備えた新たなむらづくりを実現を目指し、地域全体の振興計画に基づいた生活基盤、交流基盤、情報基盤の施設整備を推進する。

さらに、漁場の環境保全や良好な漁村生活環境の維持を図るための排水処理施設の機能強化、漁村の循環型社会構築のための施設整備、景観法による景観計画区域及び景観地区における景観に配慮した施設整備を推進する。

2. 事業内容

（1）漁港の高度利用のための整備

漁港区域内又は周辺漁港区域内に係留している放置艇を收容するために必要な放置艇収容施設の整備

漁港環境の形成を図るために必要な緑地・広場等の美化・利用整序促進施設の整備

漁港の安全性の向上、軽労化、汚水処理等による衛生的な環境形成を推進するために必要な浮棧橋等の漁港環境改善促進施設の整備

つくり育てる漁業等の支援のための深層水等利活用施設の整備

小規模な改良等により漁港機能の向上を図る漁港機能改善施設の整備

（2）漁村コミュニティ基盤整備

コミュニティの発展に密接に関連する生活改善のために必要な防災安全施設等の生活基盤施設の整備

地域の特性を踏まえた個性ある漁村づくりを推進するため、都市と漁村との交流の拠点となる体験学習施設や展示販売提供施設等の交流基盤施設の整備

漁業活動等各種活動の支援及び高度な漁港利用による漁業の振興と漁村の活性化を図るために必要なCATV等の情報基盤施設の整備

美しい漁村づくりを推進するため、周囲の景観に調和させるための施設等の整備

3. 事業実施主体 地方公共団体、水産業協同組合等

4. 平成17年度予算額（前年度予算額）

15,228,087千円（0千円）の内数

5. 交付率 定額（2/3、1/2、1/3以内）

[水産庁漁港漁場整備部防災漁村課]